

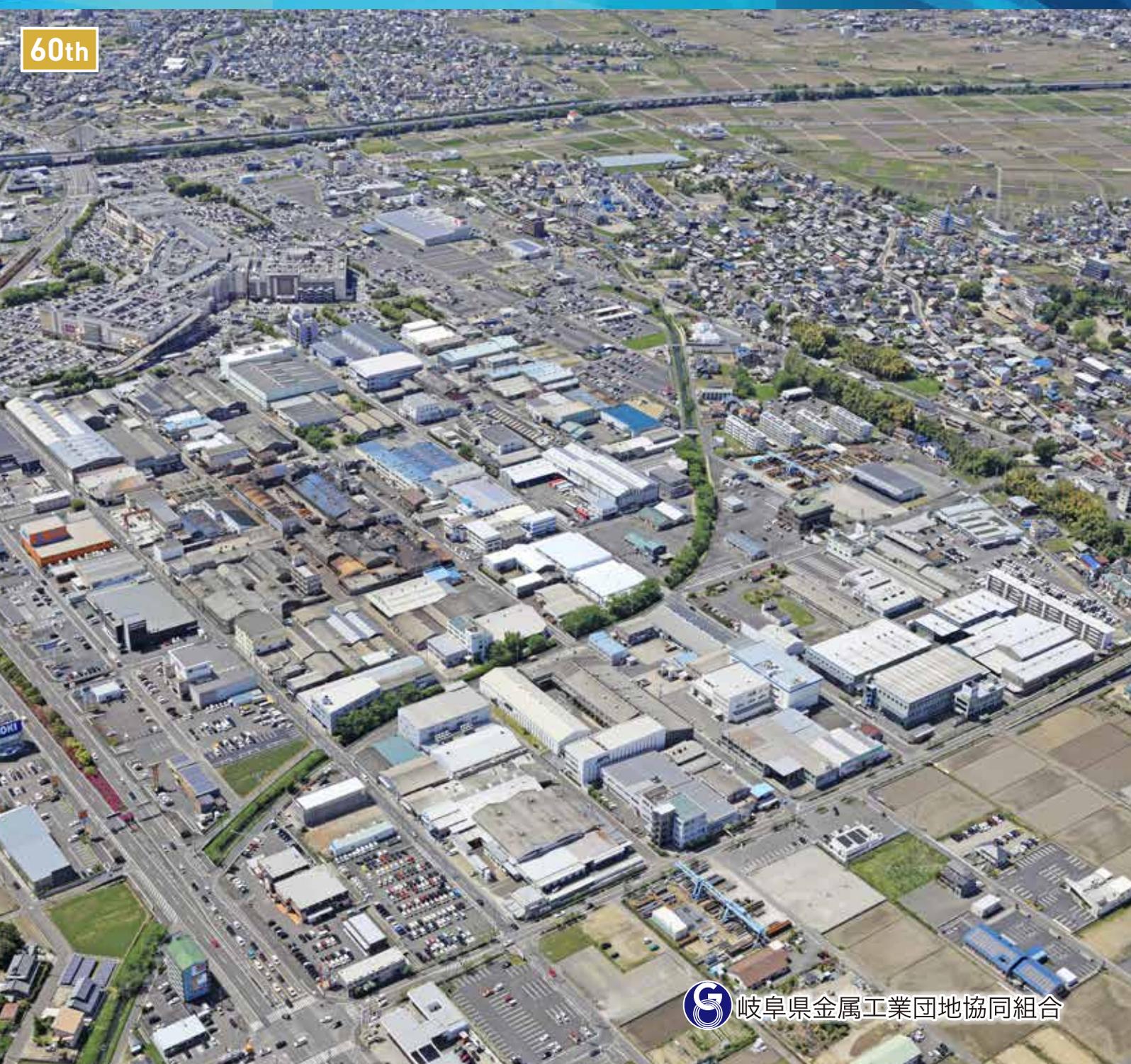
No.571

2022.4.18

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th



岐阜県金属工業団地協同組合



3月度月例会開催

3月22日(火)正午より組合研修センター3階集会室にて3月度月例会を開催しました。

月例会に先駆けて、金属団地60周年記念誌の完成配布報告と組合員や従業員及び家族等から幅広く募集した「題字」と「詩」の採用作品についての記念品贈呈式を実施しました。

贈呈式では作品を書いていたご本人の代理として、企業の代表者へご協力と感謝を込めて記念品の贈呈が行われました。たくさんのご応募ありがとうございました。



題字の部門 (株)テクノ共栄様



詩の部門 (株)ミヤナガ様

さて、月例会ですが、野村証券株式会社 岐阜支店 佐竹 友幸氏をお招きし『アフターコロナを見据えた経済動向と今後の企業活動について』と題してご講演していただきました。アフターコロナを踏まえた国内外の経済環境、ウクライナ問題による原料高等々諸問題についてお話いただき、次の一步を踏み出す経営のヒントとなりました。



ひとやすみ

今月の押し菓子

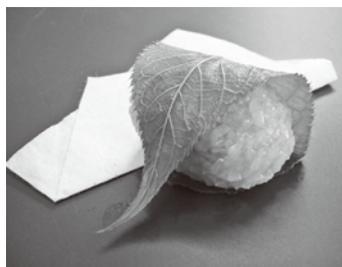
日経新聞でも取り上げられた「どら焼き」で有名な「梅園茶屋」から「知る人ぞ知る逸品」をご紹介します。

桜餅

大き目の道明寺に自慢のこし餡を包み、もちりとした食感を大切にした桜餅です。仕上げには、2～3年かけてじっくり塩漬けした軟らかい桜葉を巻き、甘味と塩味の絶妙な春の逸品です。

1個160円 消費期限 2日間

大好評につき
事前注文をお願いします！



ご注文はこちらへ！

「梅園茶屋」(金属工業団地組合会館内)

TEL 058-383-7151

FAX 058-383-7131

E-mail : umezonojaya@carrot.ocn.ne.jp



5つのチャレンジ

今年度、岐阜県経済同友会の「明日の岐阜県の社会を考える委員会」では、去る3月22日、古田岐阜県知事に対し《2030年に向け5つのチャレンジを—5項目で全国をリードする岐阜県に—》と題した提言を提出させて頂きました。

この委員会では、2030年がSDGsの目標年であり、また、わが国の温室効果ガス削減の中間的な目標年で、かつ県民3人に1人が高齢者になると推計される年でもあることから、節目の年と位置付けて岐阜県が目指すべき経済社会の姿と、その姿を実現するために必要な施策を提案することでありました。

5つのチャレンジとして、

- ①効率的で、感染症に強い地域医療体制を築くこと
- ②DXと脱炭素化を同時に、かつ強力に推し進めること
- ③すべての大人に学び直しの機会を整備すること
- ④再生可能エネルギーを積極的に導入すること
- ⑤働き手の介護と仕事の両立を支えること

を掲げました。これら5つの関係で重要なのは、1つ目の、効率的で、感染症に強い地域医療体制を築くことは、ほかの4つを機能させる基盤として位置付けられる、ということです。

我々が2年以上にわたる感染拡大の中で目の当たりにしたのは、医療体制に瑕疵が生じれば経済社会はたちまち委縮してしまう、ということです。今後、感染拡大が起こっても経済社会が縮んでしまわないように、2030年までに大きくて分厚く、壊れることのない医療体制を築く必要があると思います。

上記のことをベースに5つのチャレンジを簡潔にまとめてみます。

チャレンジ①を実現するために、県中心部の大規模病院を統合して専門病院化したりすることや、感染拡大時の医療体制を協議する組織の設置を提案します。

チャレンジ②を実現するために、中小企業の従業員が、DXと脱炭素化について専門教育や実習などを継続して受けられるよう、県が基金を設置することを提案します。

チャレンジ③を実現するために、県で実施されている学び直しのカリキュラムが成長産業のニーズにマッチしているかどうかを調べ、更新すべき点があれば審議会に提言する仕組みを設置することを提案します。

チャレンジ④を実現するために、再エネの創出量を増やす施策として、荒廃農地の上部空間に太陽光発電設備を設置し、下部空間で作物を育てる「営農型太陽光発電」の推進を提案します。また、県内の新築住宅に太陽光発電設備を設置した場合には、県内市町村が固定資産税を一定期間減免することを提案します。

チャレンジ⑤を実現するために、自治体が介護の相談窓口を、鉄道駅など働き手が利用しやすい場所に設置することを提案します。

以上、2030年に向けて5つのチャレンジをし、岐阜県がこの5項目で全国をリードする経済社会を構築すべきことを提言致します。

この提言に対する岐阜県並びに岐阜県議会よりの講評は、5月10日に開催される《同友会岐阜県サミット》にて発表されます。

この提言を事務局に置かせていただきます。是非、ご一読いただけますようご案内いたします。

閑話休題

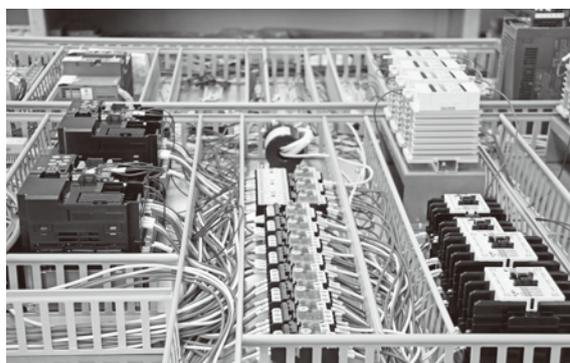


株式会社 常盤電機

当社は、電機制御部品・電設資材の販売を行う「商社」の顔と、塗装乾燥装置をはじめとした産業用機械装置を設計・製造する「メーカー」の顔を併せ持っています。

各務原・可児の2つの工場があり、各務原工場では制御盤の設計・製造を行っています。今年で創業60年目。電気・機械・ロボット分野の確かな技術で、日本全国や海外に機械装置を多数納めてまいりました。自動車・航空機・鉄道・家電等の幅広い業界において、ものづくり企業さまのパートナーとして、生産性の向上／労働環境の改善に日々取り組んでいます。

●各務原工場外観／事務所風景／制御盤



●近年の取り組み

積極的に新卒採用に取り組んでいます。
夏・冬には、インターンシップを開催。
電気制御技術を学び、実際に装置を組み立てるプログラムを催し、参加した学生からも好評いただきました。



岐阜県工業系高校生徒の“進路意識”調査結果について

先月号では、岐阜県航空機産業関連企業の求人・内定動向について分析した結果をもとに、コロナ禍の影響について企業側の視点から述べさせて頂きました。今回は、岐阜県工業系高校機械系生徒の“進路意識”に関する調査結果について記述させて頂きます。

企業人材全力応援室では岐阜工業高校の協力を得て、平成29年度から生徒の進路意識を知るためにアンケート調査を実施しています。今年度は、航空機械工学科及び電子機械工学科2年生計108名から回答頂きましたので、その集計結果の一部を紹介させて頂きます。調査日は、令和4年1月26日(水)です。

※このアンケート調査は、同校機械系学科2年生の生徒を対象に毎年1月下旬に実施しています。

図1は、岐阜工業高校に求人票を提出されている各務原市内企業(産業分野:航空宇宙・金属加工・自動車・ロボット・精密機械・医薬品・医療機器・プラスチック・繊維・材料等)の会社名・事業内容等を記した一覧表を提示し、掲載企業について「知っている企業」の有無を尋ねた結果です。

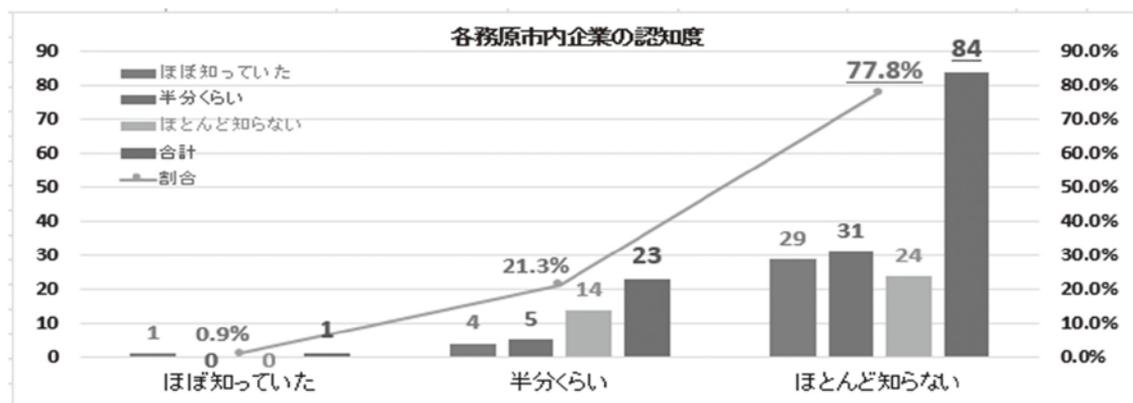


図1 各務原市内企業の認知度

「半分ぐらい知っている」と回答した生徒が20%強、「ほとんど知らない」と回答した生徒が80%弱で、製造業に繋がる「工業科」を専門に学んでいる生徒たちでも、学校(自宅)近隣の企業について何も知らないというのが実態です。この傾向は、過去3回の調査結果でも全く同様でした。企業にとっては、求人票を提出する前に如何にして“自社の名前や事業内容”を生徒に認知させるかが大きな課題です。

企業人材全力応援室では、市内企業の認知度を高めるために次のような事業を行っています。

- ①「各務原市企業ガイドブック2023」(令和4年度版)の発行：掲載企業102社、発行部数2,000部、配布先は、県内の工業系11高校と就職者が多い22高校、青森県から沖縄県までの東海地区に就職者が多い工業系57高校、県内の大学・短期大学・専門学校、愛知県及び関東地区から九州地区の大学・専門学校等128校です。県内及び愛知県の高校・大学等へは室職員が直接訪問して就職支援室(キャリアセンター等)へ置いて頂くことや学生への配布等を依頼しています。
- ②「オンライン会社紹介動画作成支援事業」：令和4年度版の参加企業26社。コロナ禍の中、学校訪問が難しい企業の採用活動支援、工場見学や対面での企業説明を受ける機会が少なくなった生徒・学生の就職活動を支援するために、市で企業紹介の動画を作成しています。この動画を岐阜地区の高校及び大学、愛知県の大学別に、その高校や大学の生徒・学生だけが閲覧できるサイトを市のホームページに作成し、閲覧を促すために“サイトを紹介しますリーフレット”を対象学校ごとに作成して高校・大学を訪問し、生徒・学生や保護者への配布を依頼しています。
- ③「就職対策懇談会」の開催：開催時期：例年5月下旬 参加者：県内及び愛知県の高校・大学(進路指導主事・学科主任、就職支援担当職員等)30校前後、参加企業(人事・採用担当者)：20数社。直接、高校や大学の学科主任・進路指導関係職員と面談できる絶好の機会です。

この他にも、不定期ですが県内高校への訪問、県内外の大学訪問を行い、市内の産業・市内企業の認知度アップの活動をしています。高校や大学に求人票を提出して学生たちに手に取ってもらうためには、何よりも自

社の名前(できれば事業内容まで)を事前に知ってもらうことが重要です。金属団地の企業の皆様も企業人材全力応援室が行っているこれらの事業にご参加頂き、自社の認知度を高める広報活動を私たち室職員と協働で戦略的に行って頂ければと思います。

図2は、生徒が就職先として“興味を持っている産業分野”の年度推移(H30～R04：4年間)です。

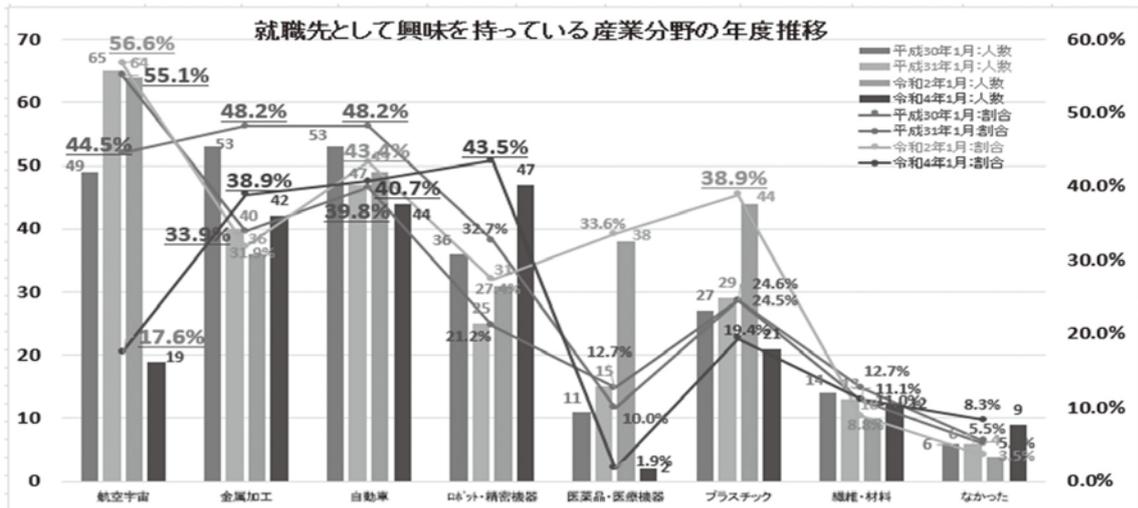


図2 就職先として興味を持っている産業分野の年度推移

自動車分野は4年連続トップ3で、生徒が興味を持つ就職先産業分野として安定して高い人気を保持しています。また、金属加工分野も各年度ともに安定して上位に来ています。特徴的なのは、コロナ禍以前には50%を超える生徒が就職先産業分野として考えていた航空宇宙分野が、現3年生では1/3以下の17%台まで急落していることです。代わって上位に来たのがロボット・精密機器分野でH31(21.2%)からR04では2倍以上の上昇(43.5%)となっています。コロナ禍の影響による航空宇宙産業の低迷、そして、IoTやDXなどの情報通信技術やロボット等を活用した産業界の構造変化等が、生徒の進路選択分野に大きく影響してきていることが伺われます。このことは、中学生やその保護者にも浸透しており、今年度の岐阜県工業系高校機械系学科の入学志願者は大きく定員を割っている状況です。(令和4年1月現在:岐阜県教育委員会のHPより)入学者の減少は3年後の就職者の減少に直結するため深刻な状況にあります。航空宇宙分野の学びを志す高校生の減少、就職先として航空宇宙分野の企業への興味を失った生徒の増加、更には、派遣などにより中堅社員が減少している航空機関連企業、この状態が3年継続すると、コロナ禍が去って再び航空宇宙産業に多くの人材が必要になった時、市内の各企業はどのように対応されるのか?今から心配されることで、3年後に向けた航空宇宙産業の人材確保対策を行っていく必要性を強く感じています。

図3は、就職希望地域の年度推移です。

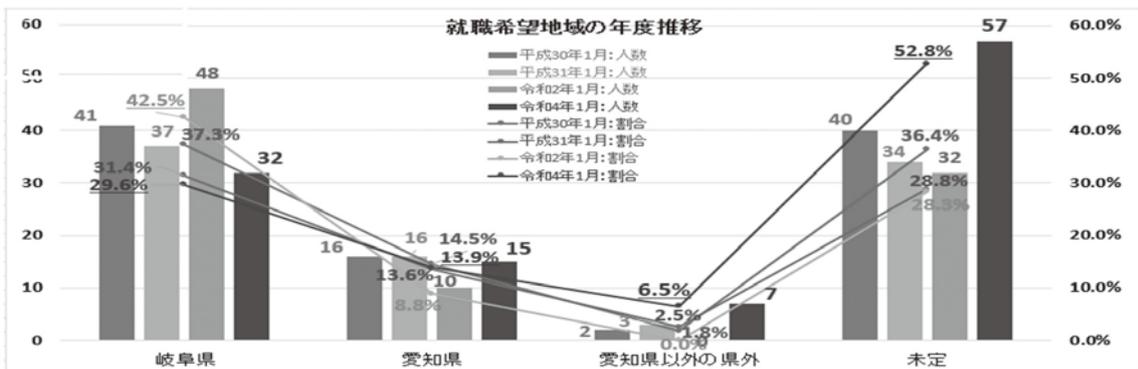


図3 就職希望地域の年度推移

2年生の1月末の時点では、各年度とも岐阜県を希望する生徒は30%～40%台で、愛知県(10%台)や愛知県以外の県外(数%台)を希望する生徒より格段に多くなっています。今回の調査では未定の生徒も前回調

査の1.8倍と多くいます。これは、コロナ禍の影響でインターンシップや企業見学が未実施のため企業学習が十分にできていないことが要因だと思います。従って今からの学校への企業情報の提供が、自社への応募獲得にはとても重要になります。2年生の段階で愛知県の企業を希望している生徒の中には、入学時から企業内学園保有企業への就職を目指している生徒が多くおり、これに未定の生徒が加わって最終的に愛知県の企業へ就職する生徒は30%前後となります。県内企業への最終の就職率は例年70%弱、直近では60%強となっています。市内企業の皆様から、「工業高校の生徒はみんな愛知県へ就職をしてしまう。」という声をお聞きすることがありますが、決してそのようなことはありません。大半の生徒は県内企業に就職しています。

最近の特徴として、愛知県以外の県外(東京都)企業へ就職をする生徒が増えてきています。これは、岐阜県や愛知県の企業からの求人数以上に東京都の企業(初任給が高い・最高額：¥ 270,000)からの求人が増えていることも影響していると思います。特に、設備・建設系ではこの傾向が顕著になっています。県内の企業には、初任給や休暇制度・年間休日数、福利厚生を見直して、関東地区の企業と戦うことができる求人条件の整備をして頂ければと思います。

図4は、就職先企業を決めるにあたって重視する事項の年度推移です。

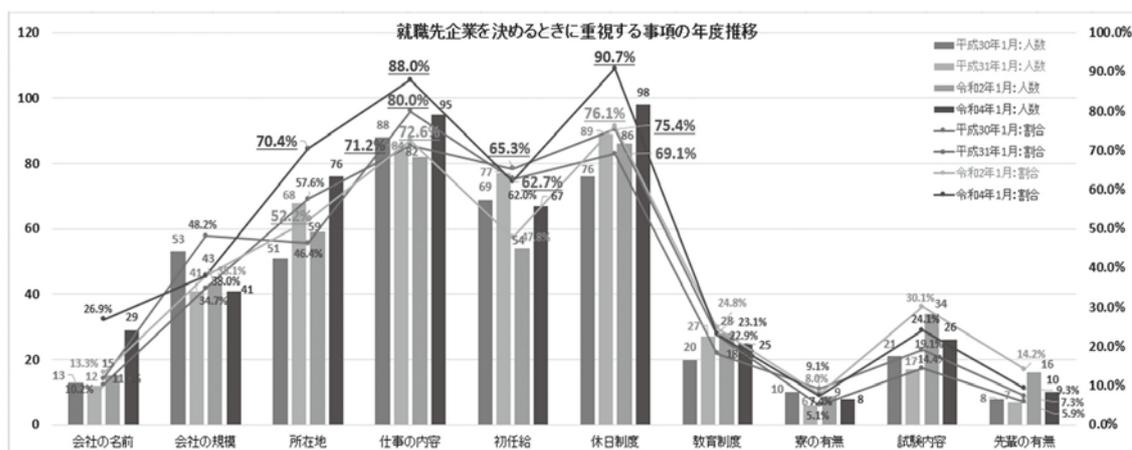


図4 就職先企業を決めるにあたって重視する事項の年度推移

平成30年1月調査では、①仕事の内容：80.0%、②休日制度(年間休日数)：62.7%、③初任給：62.7%の順でしたが、平成31年1月調査では、①休暇制度(年間休日数)：71.2%、初任給：65.3%と、休日制度(年間休日数)を重視する生徒が一番多くなっていました。この休日制度(年間休日数)を重視する傾向はその後も継続し、令和2年1月調査の①休日制度(年間休日数)：76.1%から令和4年1月調査では①休日制度(年間休日数)：90.7%とダントツに高くなっています。仕事の内容を重視する生徒は過去3年間では2番手となっています。特徴的に変化してきたのが「所在地」を重視する生徒の増加です。平成30年1月調査では46.4%と5番手でしたが、令和2年1月調査で52.2%とトップ3になってから令和4年1月調査では2番手：70.4%と非常に高い伸び率となっています。

このような就職先企業を決めるにあたって重視する事項の年度推移から、来年度就職先企業を決める生徒たちは、「①年間休日数・休暇制度が充実して、②自分がやりたい仕事ができる会社が、③自宅から自家用車で通勤1時間以内にある。」という条件の企業を選ぶ傾向が強くなると思われます。令和4年度に県内の工業系高校に求人票提出予定の企業様は、このような生徒たちの就職意識を参考にして自社の求人票の見直しを行って頂き、新規高卒採用力“戦闘力”を高めて、愛知県や東京の企業とのバトルに打ち勝って県内の工業系高校等から新規高卒を獲得をされることを願っています。なお、新規高卒採用力“戦闘力”の分析方法や、“戦闘力”と新規高卒獲得の可能性の関係については、昨年度及び今年度の金属団地ニュースにて紹介させて頂いていますので参考にして頂ければと思います。詳しいことをお聞きになりたい企業様は企業人材全力応援室(長屋)までお問い合わせ頂ければ説明にお伺いさせていただきます。

次回は、令和4年度岐阜県工業系高校の入試出願状況について述べさせていただきます。

(文責：各務原市企業人材全力応援室 人材確保相談員 長屋千秋)



60周年記念誌を振り返る ①

「題字 編」

新型コロナウイルス感染症の影響によって60周年記念式典等が早々に中止となり、記念誌制作が60周年のメイン事業となりました。そこで組合員企業の従業員さんにも参加してもらえるような企画として、題字や詩の募集が行われました。結果、腕に覚えのある方から小学生のお子さん、外国人の方などバラエティ豊かな顔ぶれからご応募いただけたので、惜しくも採用されなかった作品をここでご紹介したいと思います。

①：個人的にお気に入りだった作品

小学校三年生の女の子が書いてくれました。ハネに勢いがあっていいですね！

②：①のお父さんが娘に負けないように書いた作品

お父さんらしい雄大な字ですが審査員の評価は娘さんの勝ちでした。

③：こちらは中学一年生の男の子の作品

男の子らしく一生懸命しっかりとした字を書いてくれました。

④：筆使いの繊細さやバランスのよさが好評

紙面を大きく使えるともっと力強さが出てくると思います。

⑤：始めに審査員を唸らせたのがこちら。

筆圧の絶妙なコントロールや、はらいの力強さがすばらしいという声が上がりました。

⑥：フィリピン人実習生が果敢に挑戦した一枚

かすれがいい味を出しています。筆の腹を使えるともっとよくなりそうですね。

⑦：看護大学四年生女子の作品

紙面を大きく使い自信に溢れた感じを受けます。

⑧：高校三年生女子の作品

几帳面な性格なのか、バランスに細心の注意を払って書かれているのが伝わってきますね。

⑨：工学部M1 リケジヨの作品

独特のバランスと線の丸さが可愛いですね。アニオタの雰囲気伝わってきます…

⑩：整然とした字体でかなり好印象だった作品

3番目に人気がありました。実は某社長夫人の作品です(笑)

⑪：50代男性の作品

最後まで掲載作品と争いました。

生き生きとして躍動感に溢れ、独特な味のあるタッチは捨てがたい魅力がありました。

⑫：今回の記念誌掲載作品 ベストバランスで最高評価となりました！

経験を積んだ大人の男が醸し出す雰囲気は記念誌にピッタリな作品であると思います。

いかがでしたでしょうか？なかなか面白い試みでしたので、今後も団地ニュースで何か応募企画ができると誌面が盛り上がるのではと思いました。その際はたくさんのご応募よろしくお願いたします。5月号では詩の応募作品を掲載予定です！

① 進化

② 進化

③ 進化

④ 進化

⑤ 進化

⑥ 進化

⑦ 進化

⑧ 進化

⑨ 進化

⑩ 進化

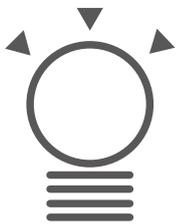
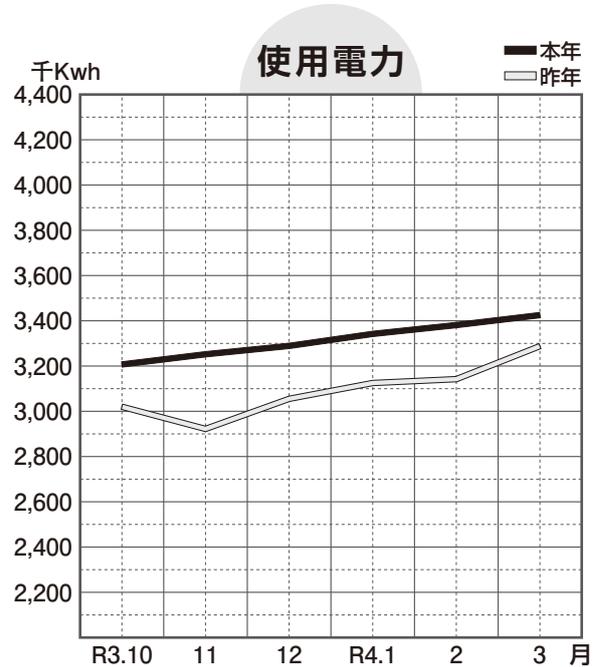
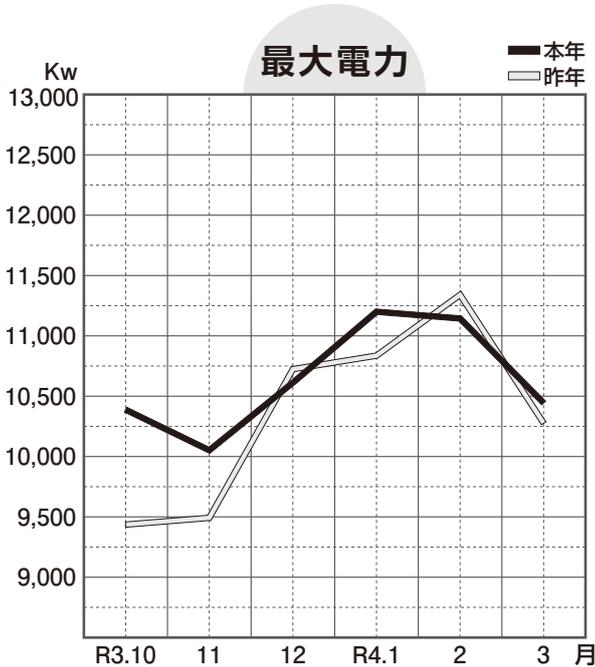
⑪ 進化

⑫ 進化



お知らせ

令和4年3月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

電気設備の計画的な更新

高圧機器を末永くご使用いただくためには点検の実施は不可欠ですが、それでも経年劣化を避けることはできません。安心してご使用していただくためには経年劣化による事故・停電の未然防止としても計画的な設備更新をおすすめします。また現在、コロナの影響で高圧機器の入荷が遅れております。突然の故障により機器交換の必要な停電が発生した場合、復旧することができず停電が長期にわたってしまうかもしれません。

高圧の電気設備は機器によって異なりますが概ね15～25年ほどで更新時期を迎えます。お客様の電気設備によっては、更新時期を大きくこえて使用している場合もあります。停電による操業停止のリスクも考えて最善の方法を検討してみたいかがでしょうか。

行事予定

2022 **4** April

16 土	団地G 『組合休日』
17 日	
18 月	月例会(12:00~) 役員会(12:30~)
19 火	
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	『組合休日』
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	編集委員会(12:00~)
28 木	
29 金	『昭和の日』
30 土	『組合休日』

2022 **5** May

1 日	
2 月	『組合休日』
3 火	『憲法記念日』 『組合休日』
4 水	『みどりの日』 『組合休日』
5 木	『こどもの日』 『組合休日』
6 金	
7 土	『組合休日』
8 日	
9 月	環境委員会(11:00~) 総務委員会(12:00~)
10 火	労務委員会(11:00~) 業務委員会(12:00~)
11 水	財務委員会(12:00~)
12 木	監査(10:00~)
13 金	役員会(12:00~)
14 土	『組合休日』
15 日	

■ 5月下旬の行事予定

5月26日日 定時総会、総会懇親会（兼60周年打ち上げ）…団地関係者に限定
5月28日日 総会記念ゴルフ兼60周年記念ゴルフ

■ 3月度金属団地ゴルフ会

3月19日日 関ヶ原カントリークラブ
優勝 山村容弘（山村製作所） 2位 今井哲夫（今井航空機器工業） 3位 永田 保（マルエイ）

■ 共同駐車場空き状況（2022年4月1日現在）

駐車場	資材置場北	喫茶店北	倉庫南	福祉会館東	C棟南
空き数	0	0	0	1	1
駐車場	研修センター東	研修センター南	研修センター西	溶接組合	三井川東
空き数	0	0	2	0	0

※C棟南はC棟入居者用

G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

